
むなかた子どもの権利相談室
「ハッピークローバー」についての
アンケート結果

実施時期 : 平成29年6月26日（月）から7月10日（月）

対象者 : 宗像市内の小学5年生939名・中学2年生854名

回収率 : 97.3%

宗像市子どもの権利救済員
むなかた子どもの権利相談室
「ハッピークローバー」

質問1

宗像市には、子どもの権利を守るための「宗像市子ども基本条例」があることを知っていますか？

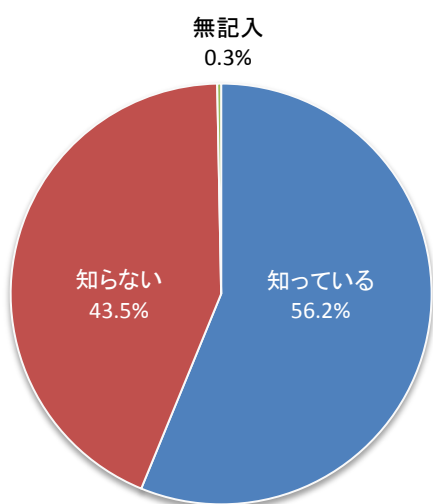


図1-1 全体の回答の割合

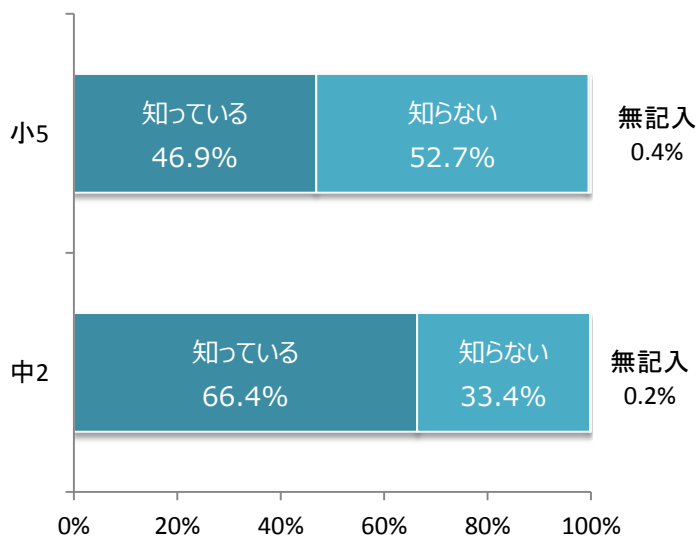


図1-2 学年ごとの回答の割合

表1 平成29年度における質問3のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	56.2% (63.2%)	43.5% (36.4%)	0.3% (0.4%)
小学5年生	46.9% (57.0%)	52.7% (42.7%)	0.4% (0.4%)
中学2年生	66.4% (70.3%)	33.4% (29.3%)	0.2% (0.4%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

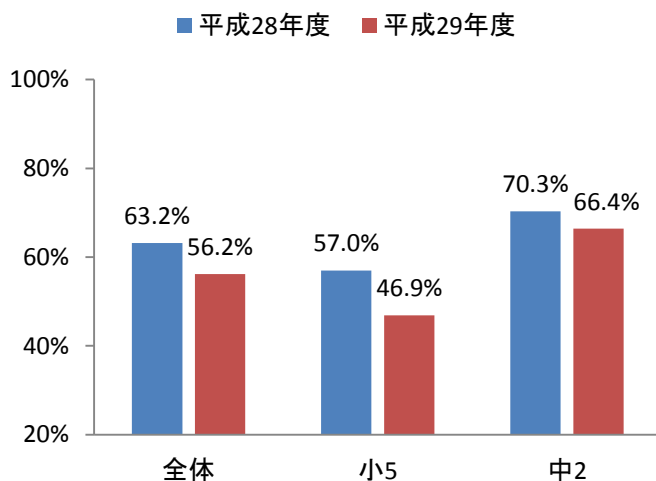


図1-3 平成28年度との比較

全体の56.2%の子どもたちが、宗像市子ども基本条例を「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生・中学2年生共に「知っている」と回答した子が減っていました。

これは、平成29年度から出張相談会へお伺いする学校と、啓発活動へお伺いする学校をグループ分けしており、出張相談会の数が増えた反面、啓発活動で説明をする機会が少なくなったことが要因の1つとして考えられます。

質問2

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」を知っていますか？

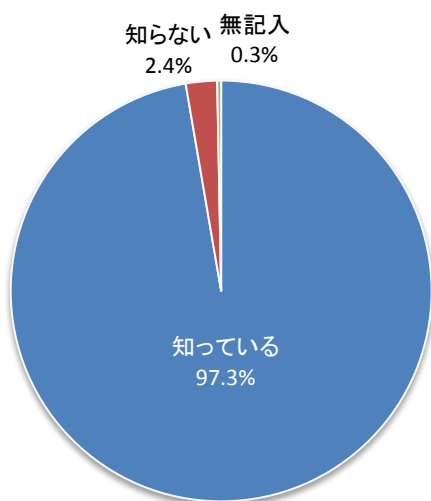


図2-1 全体の回答の割合

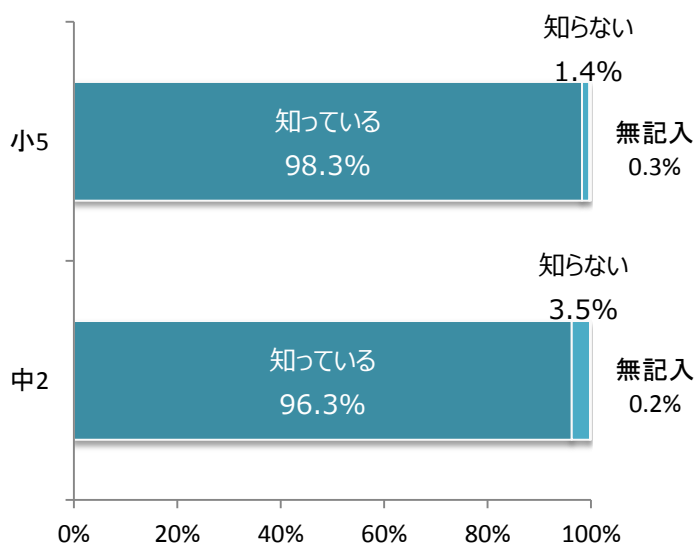


図2-2 学年ごとの回答の割合

表2 平成29年度における質問3のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	97.3% (96.2%)	2.4% (3.4%)	0.3% (0.4%)
小学5年生	98.3% (95.8%)	1.4% (3.9%)	0.3% (0.3%)
中学2年生	96.3% (96.7%)	3.5% (2.9%)	0.2% (0.4%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

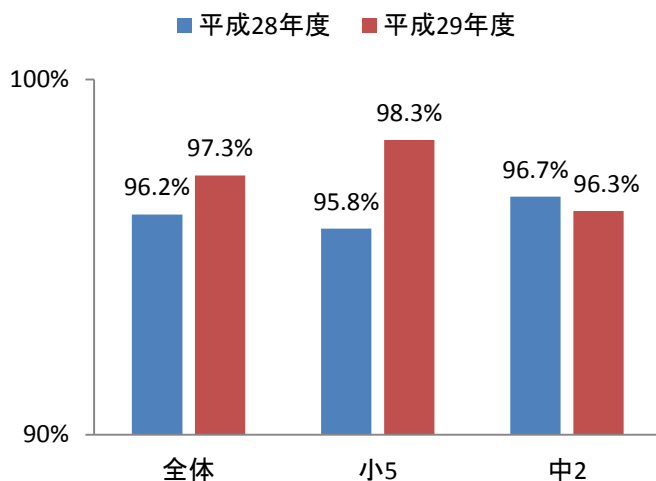


図2-3 平成28年度との比較

全体の97.3%の子どもたちが、むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」を「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、「ハッピークローバー」を知っているという回答が、中学2年生では0.4%減少していますが、小学5年生では2.5%増加しており、全体でもさらに高い認知度となっています。

学校訪問による啓発活動や出張相談会、リーフレット・はびくろ通信の配布などの活動が、高い認知度に繋がっていると考えられます。

質問3

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」が、宗像市役所の中にあることを知っていますか？

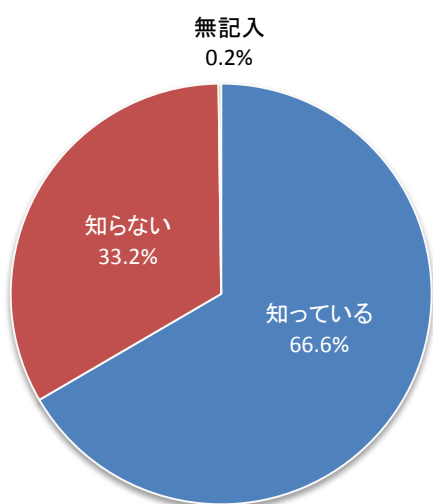


図3-1 全体の回答の割合

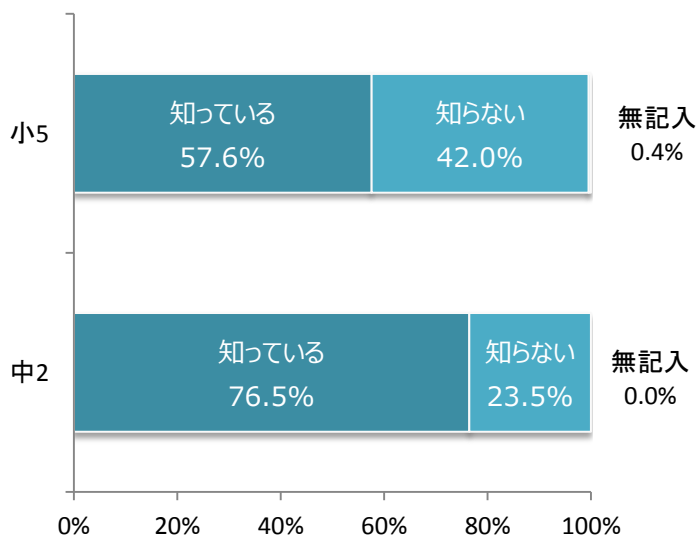


図3-2 学年ごとの回答の割合

表3 平成29年度における質問3のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	66.6% (71.9%)	33.2% (32.0%)	0.2% (0.2%)
小学5年生	57.6% (67.8%)	42.0% (32.0%)	0.4% (0.2%)
中学2年生	76.5% (76.4%)	23.5% (23.3%)	0.0% (0.3%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

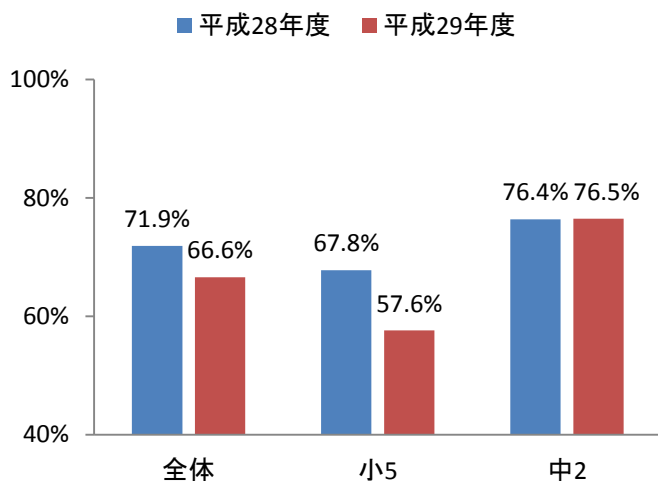


図3-3 平成28年度との比較

全体の66.6%の子どもたちが「ハッピークローバー」が宗像市役所の中にあることを「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生の「知っている」と回答した率が、10.2%下がっており、啓発活動で細かな説明をする機会が少なくなった影響が、小学生に大きく出ていることが考えられました。

「ハッピークローバー」が宗像市役所内にあることを知らなければ、直接相談に来てもらうことができないため、「ハッピークローバー」の場所については重点的にお伝えをしていこうと思います。

質問4

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」は、自分の名前を言わなくても相談できることを知っていますか？

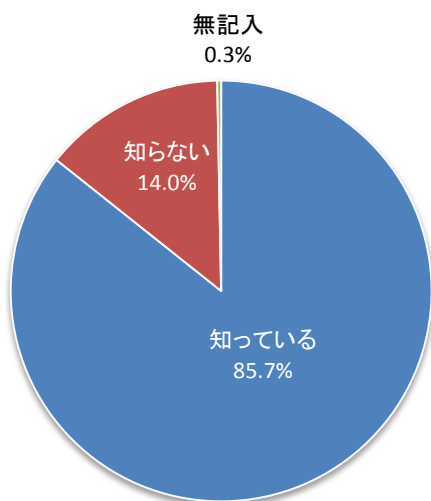


図4-1 全体の回答の割合

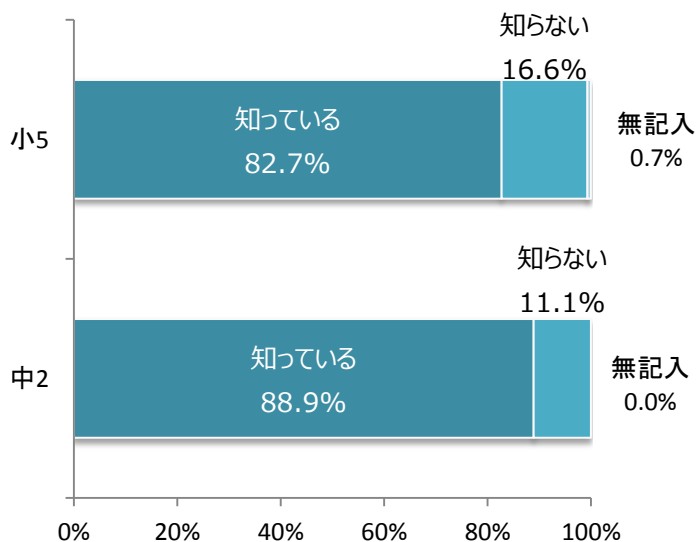


図4-2 学年ごとの回答の割合

表4 平成29年度における質問4のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	85.7% (81.5%)	14.0% (18.2%)	0.3% (0.3%)
小学5年生	82.7% (78.5%)	16.6% (21.2%)	0.7% (0.2%)
中学2年生	88.9% (84.9%)	11.1% (14.9%)	0.0% (0.3%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

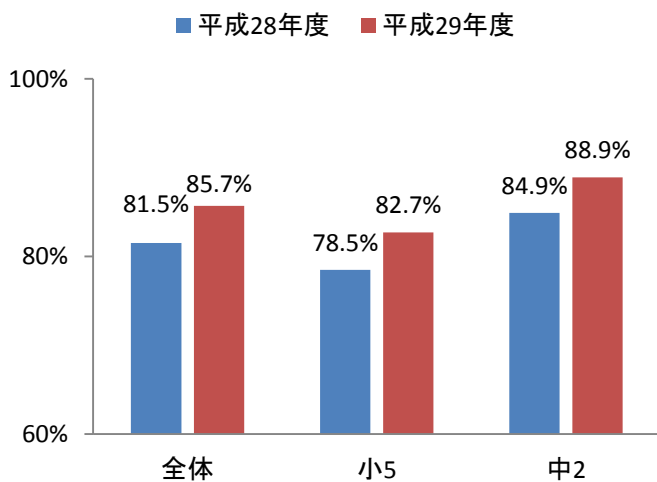


図4-3 平成27年度との比較

全体の85.7%の子どもたちが、「ハッピークローバー」へ名前を言わなくても相談ができることを「知っている」と回答してくれました。

平成28年度と比較すると、「知っている」と回答した子が、小学5年生・中学2年生共に大きく増加しています。

名前を言わなくても相談できるということは、相談することへの敷居を下げ、相談しやすさにもつながるため、さらに多くの子どもたちに周知してもらえよう、お伝えしていきたいと思えます。

質問5

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」は、フリーダイヤル（無料）で電話相談ができることを知っていますか？

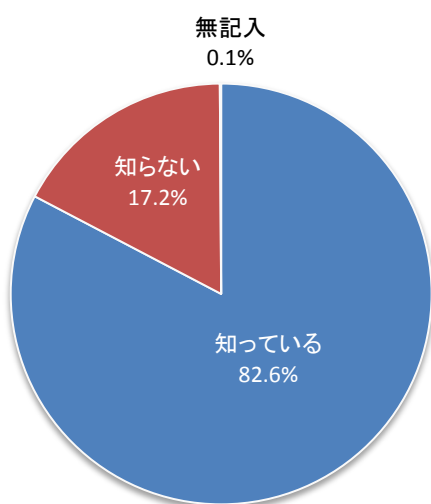


図5-1 全体の回答の割合

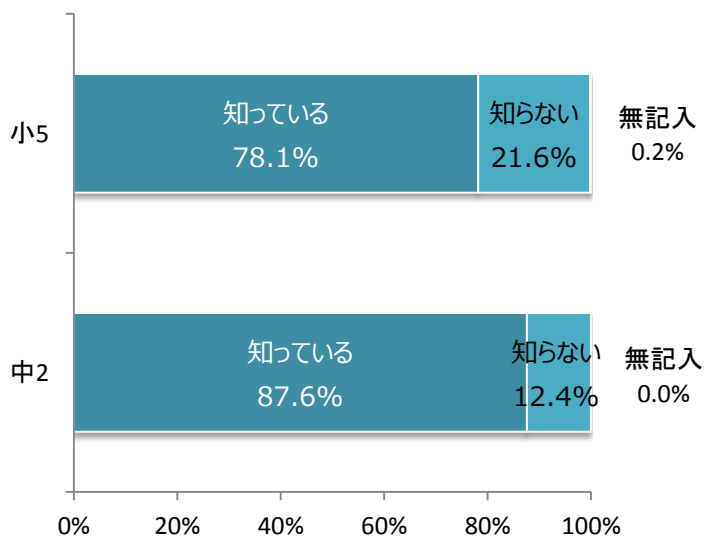


図5-2 学年ごとの回答の割合

表5 平成29年度における質問5のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	82.6% (81.9%)	17.2% (17.9%)	0.1% (0.2%)
小学5年生	78.1% (77.6%)	21.6% (22.2%)	0.2% (0.2%)
中学2年生	87.6% (86.7%)	12.4% (13.2%)	0.0% (0.1%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

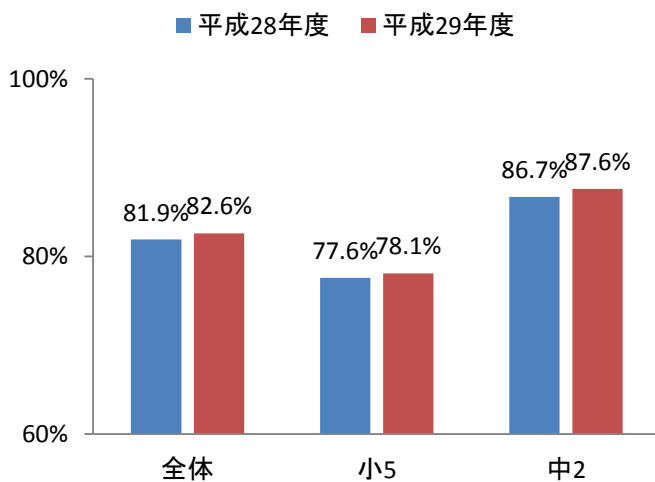


図5-3 平成28年度との比較

全体の82.6%の子どもたちが「ハッピークローバー」へフリーダイヤル（無料）で電話できることを「知っている」と回答してくれました。

平成28年度と比較すると、全体的に認知度が少し高くなり、概ね8割の子どもが「知っている」と回答していました。

フリーダイヤルで電話ができるということも、匿名で電話ができることと同様に、電話相談のしやすさにつながります。さらに多くの子どもたちに知ってもらえるよう、お知らせをしていきたいと思ひます。

質問6

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」は、相談したことを親にも先生にも秘密にしてくれることを知っていますか？

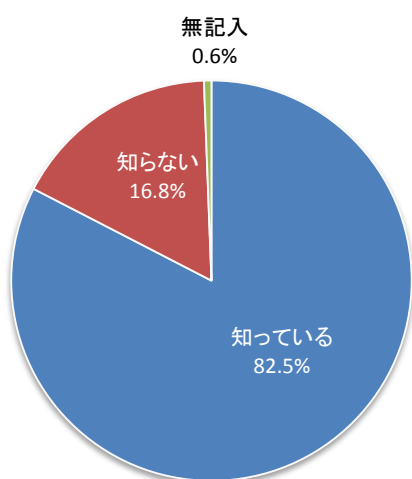


図6-1 全体の回答の割合

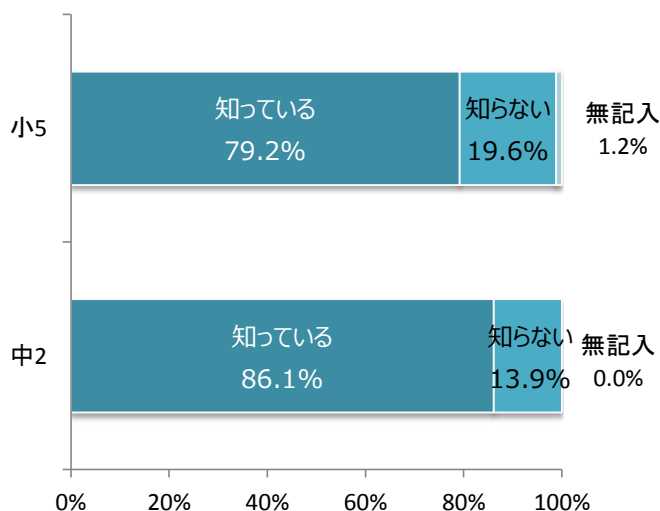


図6-2 学年ごとの回答の割合

表6 平成29年度における質問6のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	82.5% (83.4%)	16.8% (16.2%)	0.6% (0.4%)
小学5年生	79.2% (80.8%)	19.6% (18.9%)	1.2% (0.4%)
中学2年生	86.1% (86.4%)	13.9% (13.2%)	0.0% (0.4%)

※（ ）内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

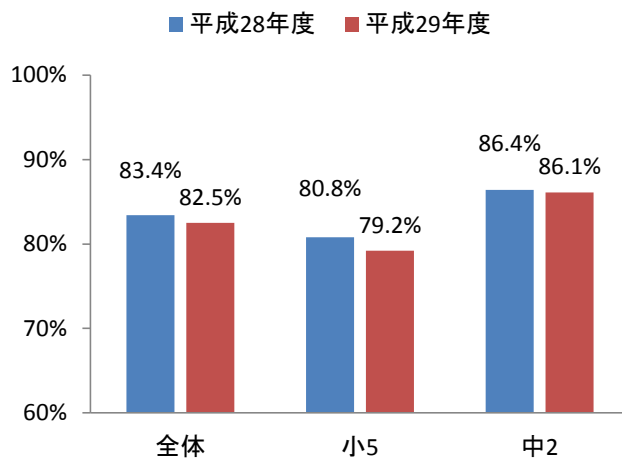


図6-3 平成28年度との比較

全体の82.5%の子どもたちが、秘密を守ることを「知っている」と回答していました。平成28年度同様、今回の結果においても認知度は高い数値となっています。

守秘義務が守られない環境下では安心して相談することはできないため、誰かに相談をする時には、内容が勝手に外に漏れない事が必須条件となります。ただ、例外として緊急の際、他の協力者と連携をはかる必要があると思われる時には、本人に断りを入れ、なるべく承認を得た上で、情報共有をはかることがあります。これは本人の命を保護するためのものであり、この「秘密にする」の定義については、しっかり整理・周知していきたいと思えます。

質問7

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」には、子ども救済制度があることを知っていますか？（救済制度とは、困っている、助けてほしいと思った時にみなさんと一緒に考えたり、みなさんの意見を親や先生に伝えたりする仕組みのことです）

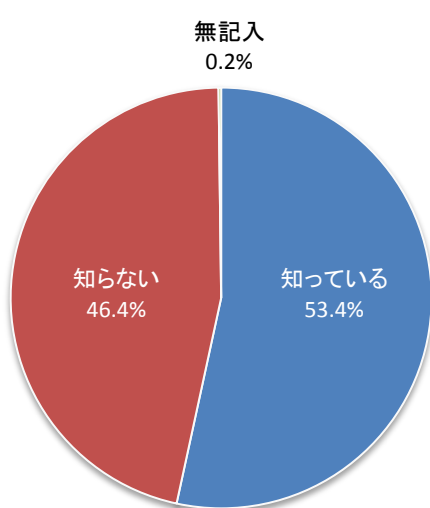


図7-1 全体の回答の割合

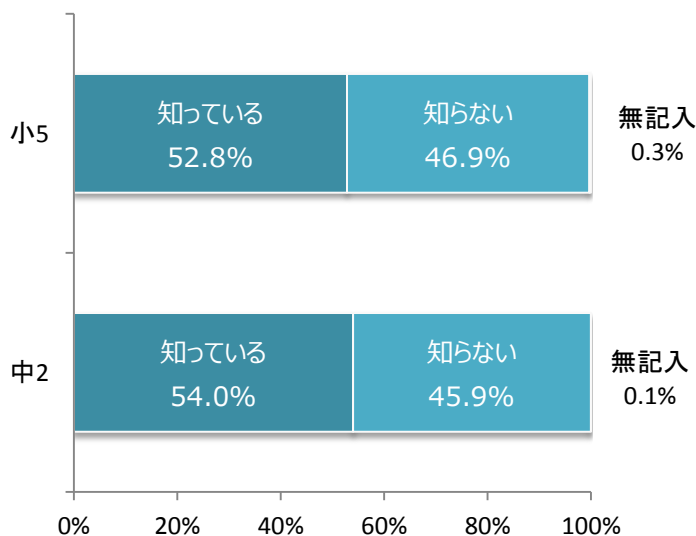


図7-2 学年ごとの回答の割合

表7 平成29年度における質問7のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	53.4% (50.5%)	46.4% (49.3%)	0.2% (0.2%)
小学5年生	52.8% (50.4%)	46.9% (49.5%)	0.3% (0.1%)
中学2年生	54.0% (50.5%)	45.9% (49.2%)	0.1% (0.3%)

※（ ）内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

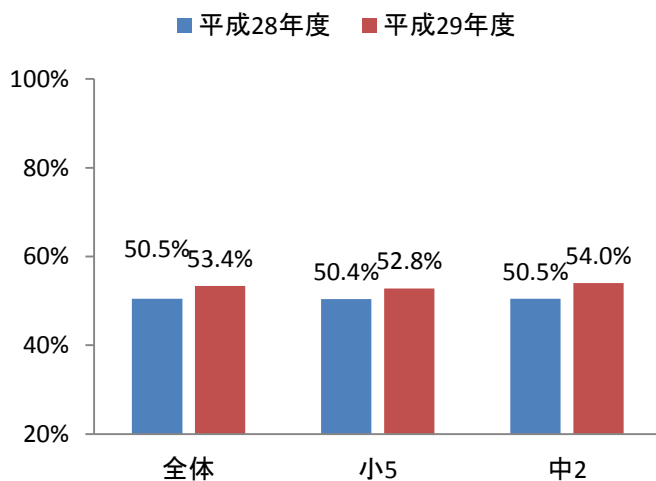


図7-3 平成28年度との比較

全体の53.4%の子どもたちが、子ども救済制度があることを「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生・中学2年生共に「知っている」という回答がやや増加していますが、まだ約半数の子どもたちが「知らない」と回答していました。

この救済制度は、子どもたちがつらい状況や苦しい状態から、抜け出すためのサポートをするものです。これからも制度について、子どもたちにわかりやすい形でお伝えをしていこうと思います。

質問8

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」が、子どもたちに配っているカードを持っていますか？

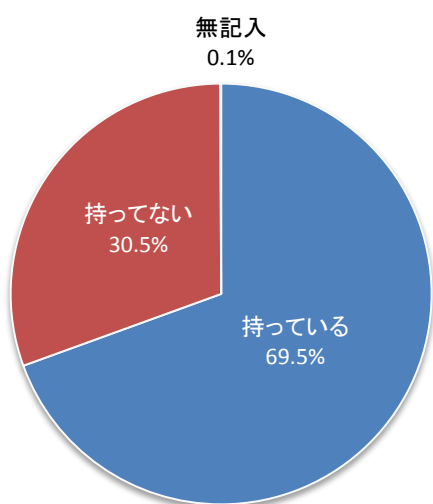


図8-1 全体の回答の割合

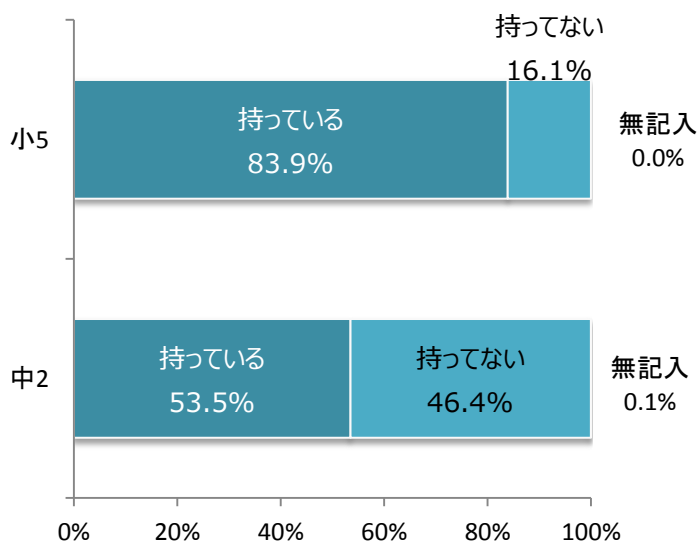


図8-2 学年ごとの回答の割合

表8 平成29年度における質問8のアンケート結果

	持っている	持っていない	無記入
全体	69.5% (70.3%)	30.5% (29.6%)	0.1% (0.1%)
小学5年生	83.9% (80.9%)	16.1% (19.1%)	0.0% (0.0%)
中学2年生	53.5% (58.6%)	46.4% (41.3%)	0.1% (0.1%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

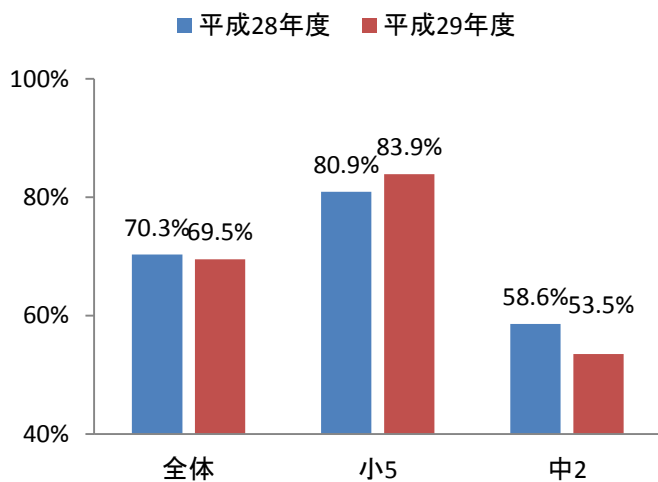


図8-3 平成28年度との比較

全体の69.5%の子どもたちが、「ハッピークローバー」のカードを持っていると回答していました。

平成28年度と比較すると、全体は若干減少し、小学5年生は増加、中学2年生は減少という結果となっています。

小学生には名札の裏に、中学生には生徒手帳に、カードを挟んでもらうようお願いをしている所ですが、中学生にどのようにカードを持ってもらうのかについては、今後も吟味すべき課題だと思われます。

質問9

子どもには「安心して生きる権利」があることを知っていますか？

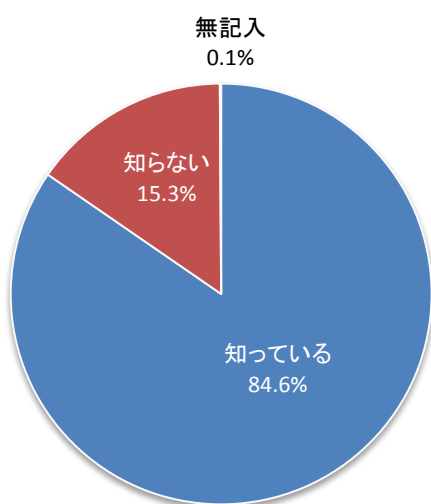


図9-1 全体の回答の割合

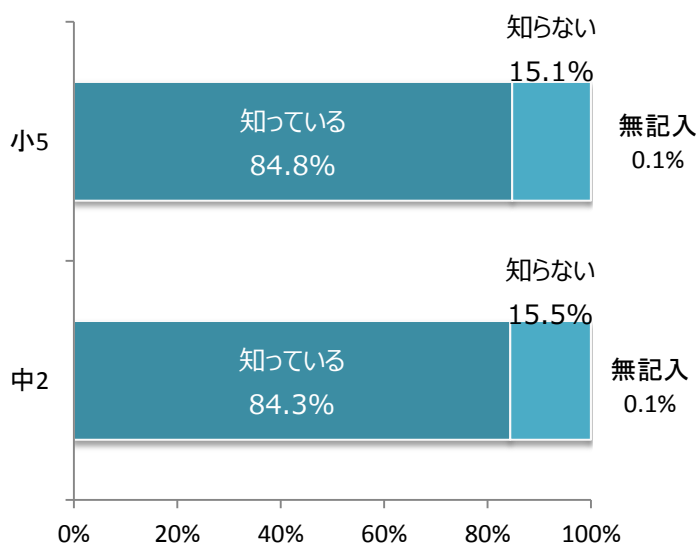


図9-2 学年ごとの回答の割合

表9 平成29年度における質問9のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	84.6% (82.6%)	15.3% (17.0%)	0.1% (0.4%)
小学5年生	84.8% (82.2%)	15.1% (17.4%)	0.1% (0.5%)
中学2年生	84.3% (83.2%)	15.5% (16.6%)	0.1% (0.3%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

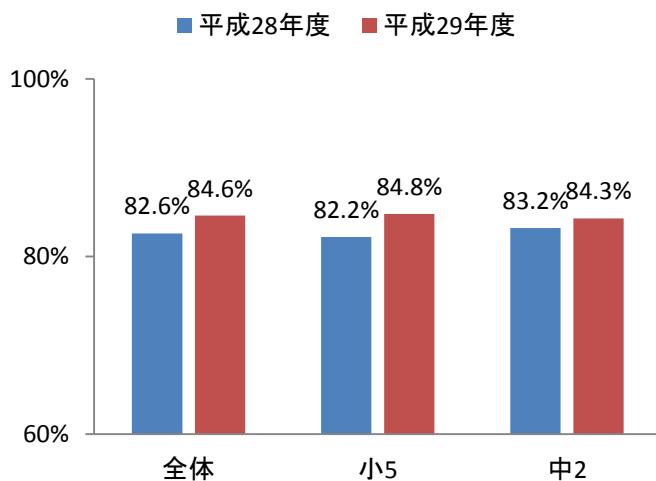


図9-3 平成28年度との比較

宗像市子ども基本条例の4つの子どもの権利の内、「安心して生きる権利」のことに
ついて、全体の84.6%の子どもたちが「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、さらに数値が増加しており、子どもの権利の認知度が高まっていることがうかがえました。

これは、平成28年度から引き続き、平成29年度の啓発活動の中でも、4つの子どもの権利について、重点的に説明を行った結果が反映されていると考えられます。

質問10

子どもには「自分らしく生きる権利」があることを知っていますか？

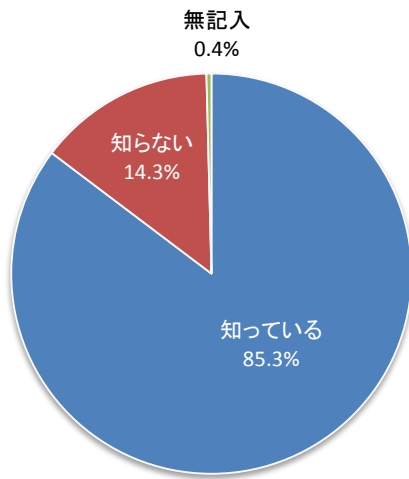


図10-1 全体の回答の割合

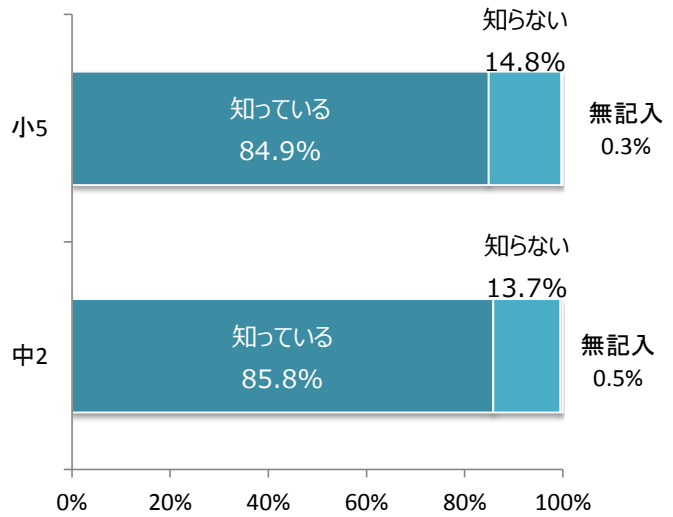


図10-2 学年ごとの回答の割合

表10 平成29年度における質問10のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	85.3% (83.2%)	14.3% (16.5%)	0.4% (0.3%)
小学5年生	84.9% (82.9%)	14.8% (16.8%)	0.3% (0.4%)
中学2年生	85.8% (83.6%)	13.7% (16.2%)	0.5% (0.3%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

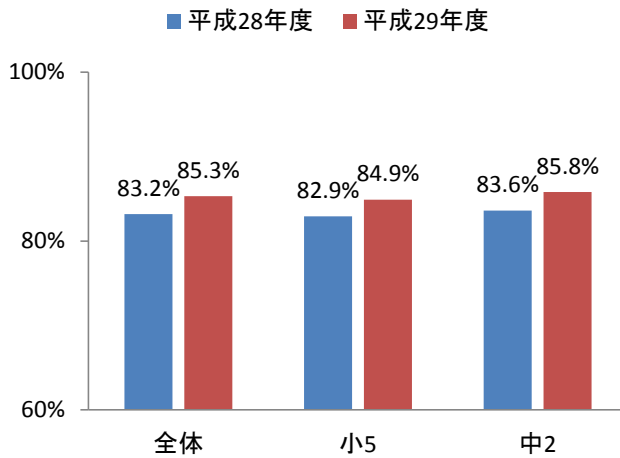


図10-3 平成28年度との比較

宗像市子ども基本条例の4つの子どもの権利の内、「自分らしく生きる権利」のことについて、全体の85.3%の子どもたちが「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生、中学2年生共に「知っている」と回答した子どもたちが増加しています。

これは質問9と同様、平成28年度から引き続き、啓発活動の中で4つの子どもの権利について、重点的に説明を行っている結果が反映されていると考えられます。

質問11
子どもには「豊かに育つ権利」があることを知っていますか？

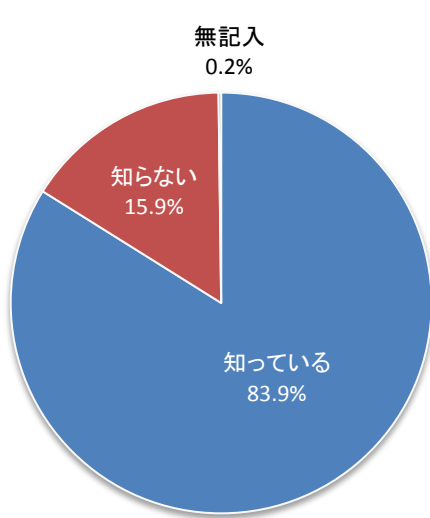


図11-1 全体の回答の割合

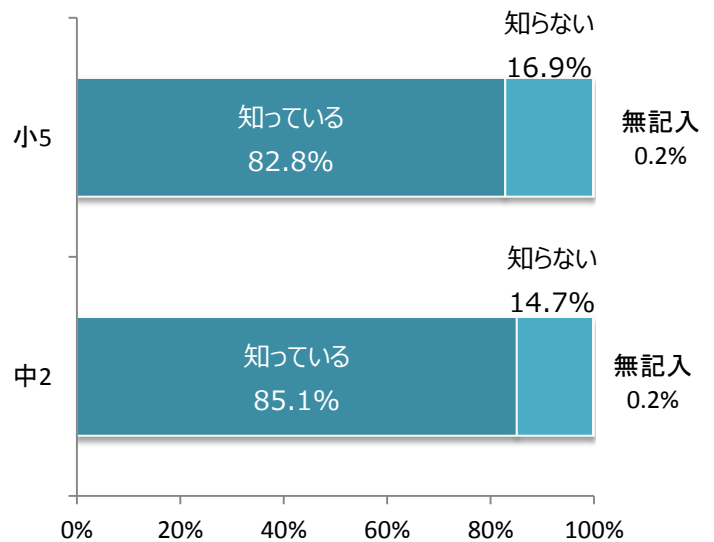


図11-2 学年ごとの回答の割合

表11 平成29年度における質問11のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	83.9% (82.4%)	15.9% (17.2%)	0.2% (0.4%)
小学5年生	82.8% (82.2%)	16.9% (17.4%)	0.2% (0.5%)
中学2年生	85.1% (82.6%)	14.7% (17.0%)	0.2% (0.4%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

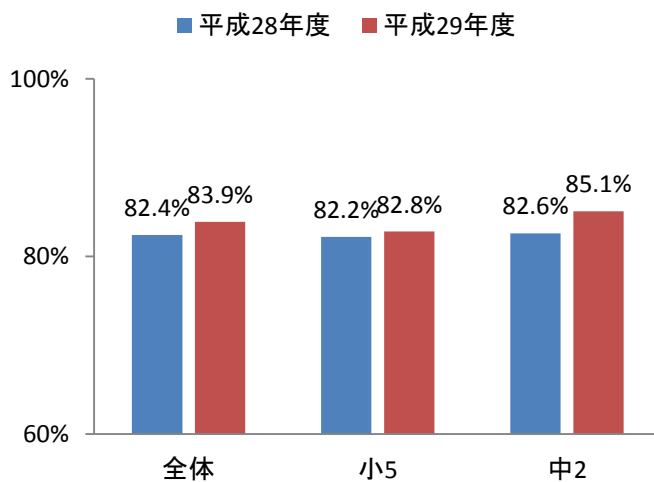


図11-3. 平成28年度との比較

宗像市子ども基本条例の4つの子どもの権利の内、「豊かに育つ権利」のことについて、全体の83.9%の子どもたちが「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生、中学2年生共に「知っている」と回答した子どもたちが増加しています。

これは質問9・10と同様に、平成28年度から引き続き、啓発活動の中で4つの子どもの権利について、重点的に啓発活動を行っている結果が反映されていると考えられます。

質問12

子どもには「意見を表明する権利」があることを知っていますか？

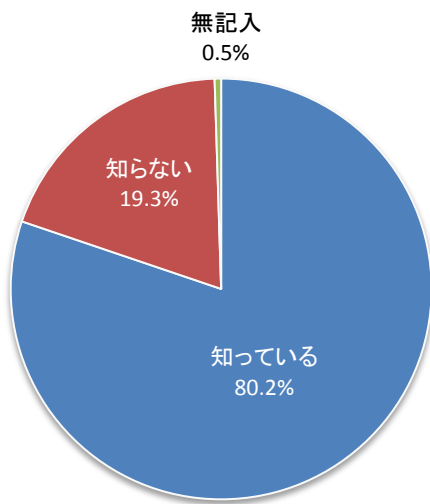


図12-1 全体の回答の割合

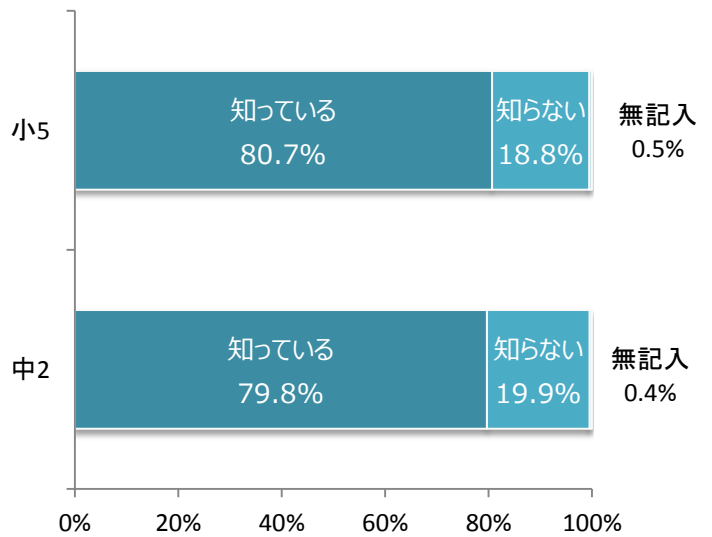


図12-2 学年ごとの回答の割合

表12 平成29年度における質問12のアンケート結果

	知っている	知らない	無記入
全体	80.2% (78.0%)	19.3% (21.5%)	0.5% (0.5%)
小学5年生	80.7% (79.4%)	18.8% (20.0%)	0.5% (0.6%)
中学2年生	79.8% (76.4%)	19.9% (23.2%)	0.4% (0.4%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

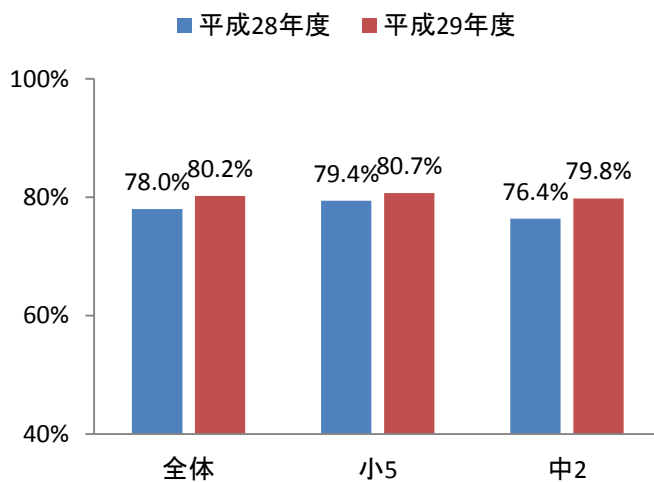


図12-3 平成28年度との比較

宗像市子ども基本条例の4つの子どもの権利の内、「意見を伝える権利」について、全体の80.2%の子どもたちが「知っている」と回答していました。

平成28年度と比較すると、小学5年生、中学2年生共に「知っている」と回答した子どもたちが増加しています。

これは質問9・10・11と同様に、平成28年度から引き続き、啓発活動の中で4つの子どもの権利について、重点的に説明を行っている結果が反映されていると考えられます。

質問13

あなたは今、どんなことで悩んだり、困ったりしていますか？

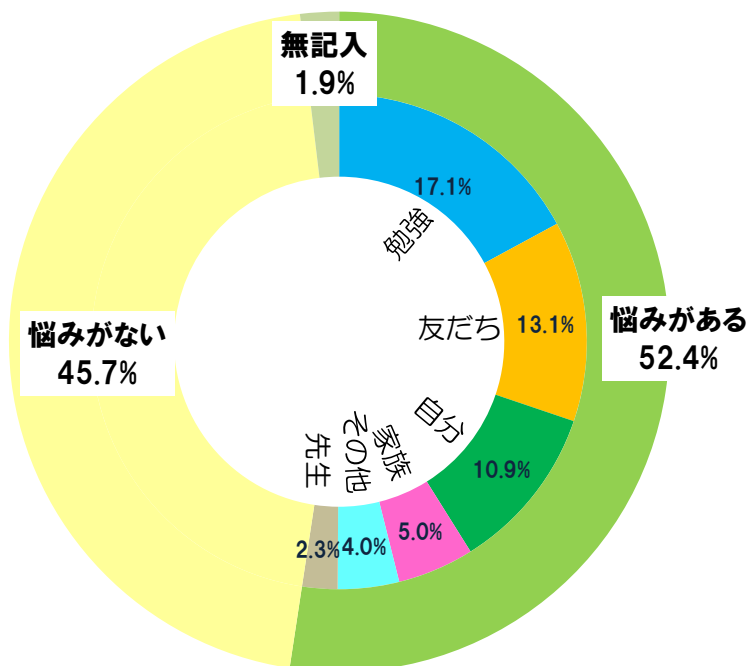


図13-1 全体の回答の割合

表13 平成29年度における質問13のアンケート結果

	友だち	先生	家族	勉強	自分	その他	無い	無記入
全体	13.1% (14.1%)	2.3% (2.6%)	5.0% (6.6%)	17.1% (20.0%)	10.9% (12.6%)	4.0% (4.0%)	45.7% (38.3%)	1.9% (1.8%)
小学5年生	15.8% (13.0%)	2.0% (3.6%)	5.8% (5.6%)	14.0% (24.0%)	12.1% (12.9%)	3.2% (5.8%)	45.5% (33.1%)	1.6% (2.1%)
中学2年生	10.2% (15.2%)	2.7% (1.6%)	4.1% (7.6%)	20.4% (25.9%)	9.7% (12.3%)	4.8% (2.2%)	46.0% (43.6%)	2.2% (1.6%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

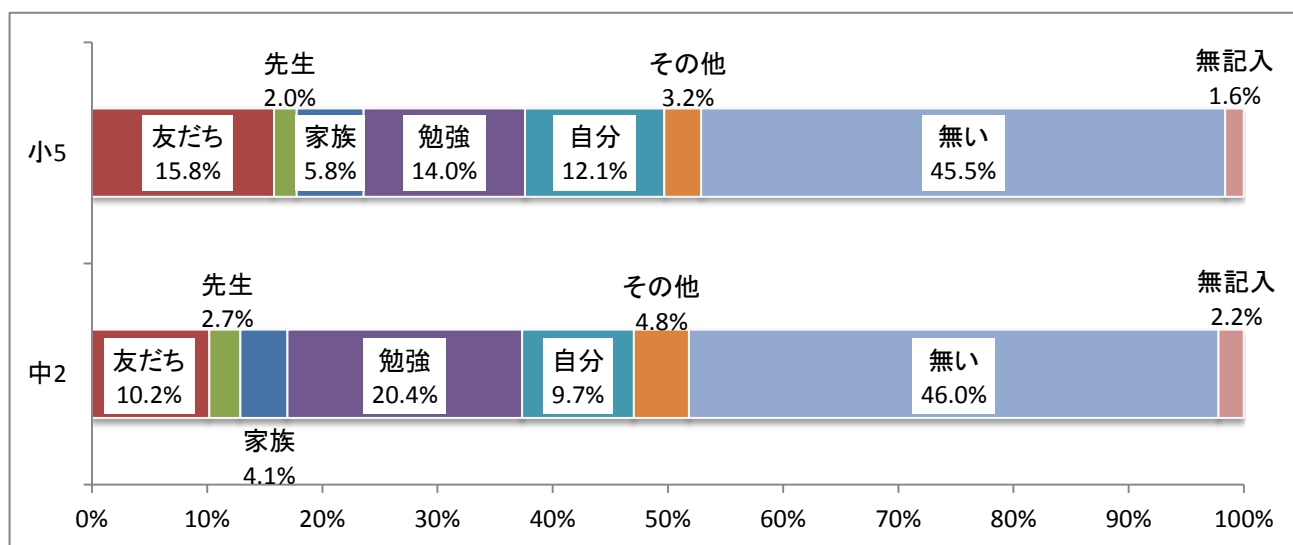


図13-3 平成29年度における質問13結果の学年間比較

「悩まない」と答えたのが、全体45.7%、小学5年生45.5%、中学2年生46.0%でした。

「悩みがある」という答えの中で、悩みや困り感の対象として回答が多かったのは、小学5年生では「友だち」15.8%、「勉強」14.0%、「自分」12.1%でした。中学2年生では「勉強」20.4%、「友だち」10.2%、「自分」9.7%でした。小学5年生、中学2年生ともに「友だち」「勉強」「自分」についての悩みが多い傾向が見られます。特に中学2年生では、「勉強」について悩んでいる子の割合が大きくなっています。

質問14
あなたが、悩んだり、困ったりしている時には、誰に相談しますか？

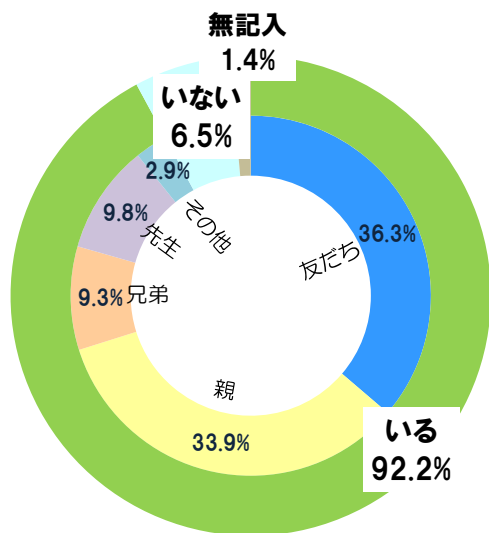


図14-1 全体の回答の割合

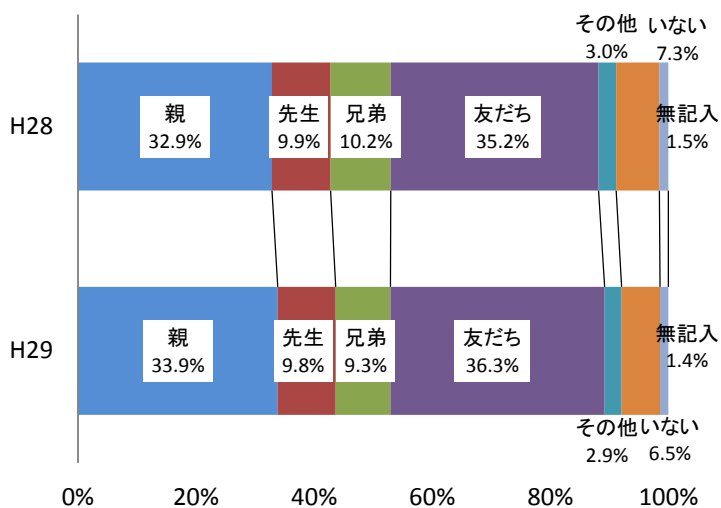


図14-2 平成28年度との比較

表14 平成29年度における質問1のアンケート結果

	親	先生	兄弟	友だち	その他	いない	無記入
全体	33.9% (32.9%)	9.8% (9.9%)	9.3% (10.2%)	36.3% (35.2%)	2.9% (3.0%)	6.5% (7.3%)	1.4% (1.5%)
小学5年生	38.3% (27.8%)	11.4% (10.3%)	10.1% (8.1%)	27.7% (43.5%)	2.7% (3.4%)	7.8% (5.9%)	1.9% (1.1%)
中学2年生	28.9% (37.6%)	8.0% (9.5%)	8.3% (12.2%)	45.8% (27.6%)	3.1% (2.7%)	5.0% (8.6%)	0.8% (1.8%)

※ ()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

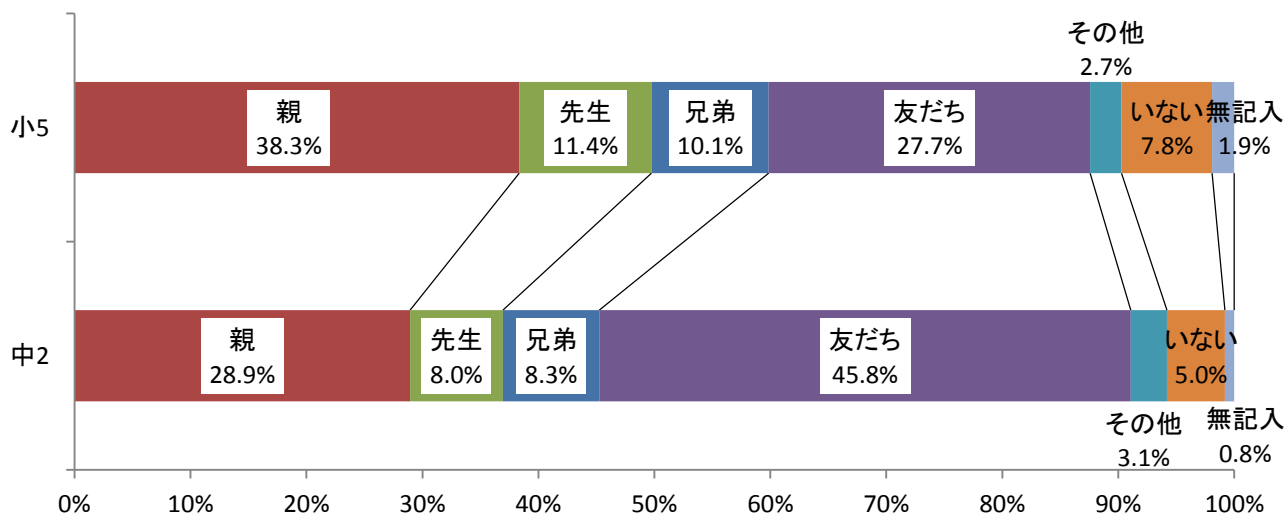


図14-3 平成29年度における質問14結果の学年間比較

子どもの相談相手として多いのは「友だち」36.3%、「親」33.9%、「先生」9.8%、「兄弟」9.3%、「その他」2.9%でした。

学年で比較すると、小学5年生でもっとも多い相談相手は「親」38.3%、ついで「友達」27.7%でした。中学2年生でもっとも多い相談相手は「友達」45.8%、「親」28.9%でした。

平成28年度と比較すると、全体では「相談する人がいない」と答えた子が減り、「親」「友達」に相談すると答えた子が増えています。

質問15

もし悩みがあるときは、むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」に相談してみようと思いますか？

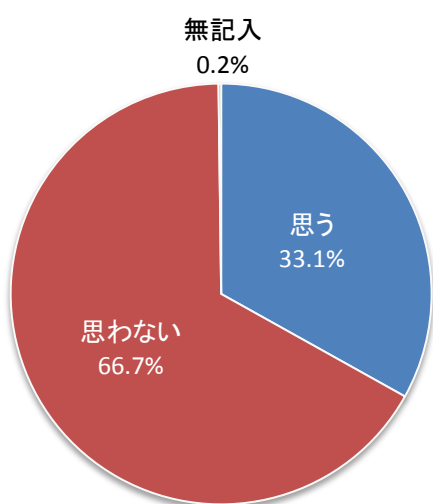


図15-1 全体の回答の割合

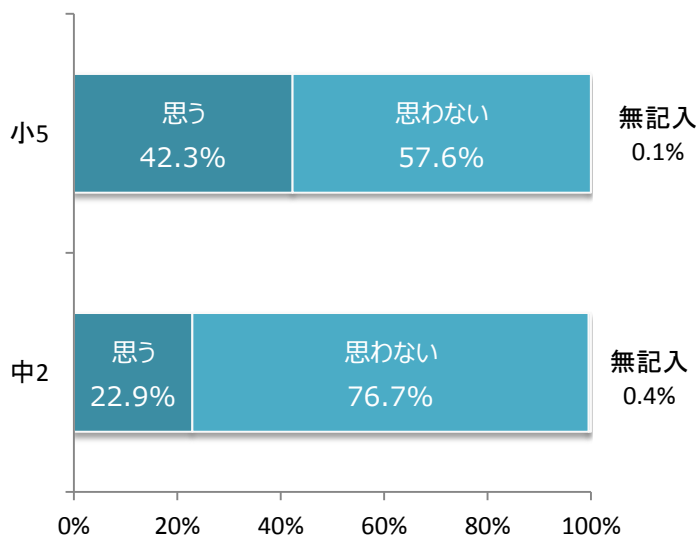


図15-2 学年ごとの回答の割合

表15 平成29年度における質問15のアンケート結果

	思う	思わない	無記入
全体	33.1% (37.0%)	66.7% (62.2%)	0.2% (0.8%)
小学5年生	42.3% (45.0%)	57.6% (54.5%)	0.1% (0.5%)
中学2年生	22.9% (28.0%)	76.7% (70.9%)	0.4% (1.1%)

※()内の数字は、平成28年度のアンケート結果を記載

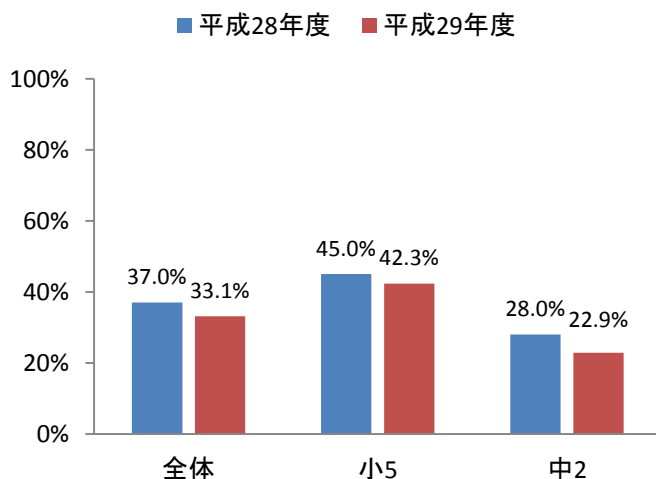


図15-3 平成28年度との比較

悩みがある時、「ハッピークローバー」に相談してみようと思うと回答した子どもは全体の33.1%でした。

平成28年度と比較すると、相談してみようと思うと回答した子どもは、小学5年生・中学2年生共に減少しています。全校啓発を隔年で実施するようになり、出張相談会でも啓発活動でもお伺いしない学校で、相談員の顔が見え辛くなり、相談への敷居が高まってしまった可能性が考えられます。相談しやすい環境を作る方法については、今後とも考えていきたいと思っています。

質問16

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」にして欲しいことはなんですか？

表16 平成29年度における質問16のアンケート結果

項目	小学5年生	中学2年生	計
悩み事を相談したい	28	6	34
今のまま継続してほしい	19	11	30
出張相談会をしてほしい	19	7	26
いじめや差別をなくしてほしい	14	11	25
イベントをしてほしい	19	5	24
相談場所を増やして欲しい	14	8	22
解決してほしい	19	2	21
しっかり話を聞いてほしい	13	3	16
啓発をしてほしい	12	2	14
相談しやすい場所にしてほしい	11	3	14
秘密にしてほしい	4	7	11
時間や曜日を増やして欲しい	5	3	8
家に来てほしい	3	3	6
相談方法を増やして欲しい	1	0	1
その他	14	16	30
計	195	87	282

付録1

自由記述について：類似した記述をカテゴリ一別に集約しました。各カテゴリに属する記述の数を下記に表記します。

表1 質問13 その他と回答した内容の内訳

項目	小学5年生	中学2年生	計
部活	0	24	24
学校生活	5	6	11
家庭生活	9	2	11
進路・将来について	4	4	8
習い事	7	0	7
勉強・成績	0	3	3
人との関わり方について	1	1	2
その他	4	7	11
	30	47	77

表2 質問14 その他と回答した内容の内訳

項目	小学5年生	中学2年生	計
祖父母	12	20	32
親戚	8	2	10
ハッピークローバー	7	2	9
自分で解決する	7	0	7
SC・SSW	0	2	2
身近にいる大人	2	2	2
ペット	0	2	2
その他	3	2	5
	39	32	69

付録2

自由記述について：類似した記述をカテゴリ別に集約しました。各カテゴリに属する記述の数を下記に表記します。

表3 質問15 相談しようと思うと答えた理由の内訳

項目	小学5年生	中学2年生	計
秘密を守ってくれるから	76	28	104
解決してくれそうだから	60	16	76
気持ちがスッキリするから	50	19	69
身近な人に相談しづらい悩みがあるから	39	21	60
信頼できそうだから	26	27	53
誰かに相談したいから	29	13	42
名前を言わなくていいから	27	5	32
悩みがあるから	27	1	28
相談しやすそうだから	10	17	27
どんな相談でも聞いてくれるから	18	9	27
自分に役立つと思うから	14	7	21
真剣に考えてくれそうだから	9	7	16
理由はない	1	3	4
その他	8	2	10
	394	175	569

表4 質問15 相談しようとは思わないと答えた理由の内訳

項目	小学5年生	中学2年生	計
相談する人がいるから	159	162	321
悩みがないから	64	63	127
自分で解決できるから	43	53	96
知らない人だから	26	50	76
恥ずかしい・緊張するから	39	26	65
めんどうだから	6	39	45
夕方6時半までに相談できないから	10	20	30
相談したくないから	11	18	29
相談している所をみられたくないから	22	3	25
秘密を守ってもらえるか心配	12	12	24
話しづらいから	7	17	24
解決しないから	3	16	19
相談方法が合わないから	11	7	18
理由はない	6	11	17
信用できないから	0	15	15
相談方法が分からないから	9	4	13
家族に怒られそうだから	9	1	10
話が大きくなりそうだから	3	2	5
なんとなく嫌だから	0	2	2
その他	11	9	20
	451	530	981